



「あだち放課後子ども教室」は区内の小中学校内で、地域の方(スタッフ)の見守りのもと子どもたちが遊びや読書など自主的に活動する場です。

今月のテーマ

安全管理講習会を受講しています



あだち放課後子ども教室のスタッフは、子どもたちを安全に見守るため、講習会や研修に参加しています。今回は、栗原小学校放課後子ども教室で行われた安全管理講習会の様子を紹介します。

● **応急手当の方法を学ぶ**

校庭を思い切り走りまわるのが大好きな子どもたち。スタッフは常に見守っていますが、元気なあまり転んで擦りむいてしまうことも。そんなときには近くにいるスタッフが、傷口の消毒などの応急手当をします。

安全管理講習会では、「応急手当マニュアル」に沿って、ケガの手当の仕方や熱中症の対応などを学びます。



講義を真剣に聴くスタッフ

● **身近なものを活用して応急手当**

この日は、スタッフが足首を捻挫した子ども役となり、雑誌やダンボールで足首を固定する方法を実習しました。身近なものを使ってできる、ケガの対処法です。

手当をするスタッフは「大丈夫？」と子どもたちを安心させる声かけをしたり「サッカーで転んだの？」とケガの理由を聞き取ったりしながら、適切な手当ができるように練習します。



捻挫をしたときの応急手当

● **いざというときのために！**

いざというときに備えて、心肺蘇生法(しんぱいそせいほう)を学ぶことはとても大事。胸骨圧迫(心臓マッサージ)やAED(自動体外式除細動器)の使い方も、一通り身に付けます。

子どもの身体の大きさに合わせたダミー人形を使った実習に、スタッフは緊張感を持って取り組んでいます。



ダミー人形で実習します



安全管理講習会は年に一回実施しています。新しくスタッフとなった人だけではなく、過去に参加したスタッフも必ず受講して、技術の維持、さらなる向上をめざしています。

スタッフを募集している「あだち放課後子ども教室」があります。詳しくはお問い合わせください。
放課後子ども教室担当 ☎5813-3732 平日 午前9時～午後5時

—あだち放課後子ども教室—

避難訓練 もしものときに備えて

「あだち放課後子ども教室」では、開催中に大きな地震が起きたとき、子どもたちが自分の身を守り、スタッフが子どもを安全に誘導できるように、学校と連携して避難訓練を実施しています。

① **スタッフは大きな声で指示します！**

参加中の子どもたちが、図書室で宿題をしたり校庭で遊んだりしているとき、避難訓練の始まりを告げる校内放送が入ります。すぐにスタッフは、大きな声で指示を出します。教室にいる子は机の下にもぐり、校庭にいる子は建物から離れて座り、静かに身を守りながら次の放送を待ちます。



② **「お・か・し・も」の約束を守って避難！**

少し経つと、避難場所を指示する放送が入ります。スタッフは、各活動場所にいる子どもを整列させて先頭と最後尾に付き、活動中に使用しているトイレにも声をかけながら校庭などの避難場所へ誘導します。子どもたちは、スタッフの指示を聞き、「お・か・し・も」の約束を守って避難します。

③ **全員が避難したことを確認します！**

スタッフは、避難場所に集まった子どもたちを整列させて点呼を取り、参加者全員が無事に避難したことを確認して学校に報告します。学年の異なる大勢の子どもたちの確認を短時間で行うことが、スタッフにとって一番大変なところです。

最後に子どもたちは、校長先生の話聞いて自分の行動を振り返り、訓練を終了します。



校庭に避難する児童

**おさない
かけない
しゃべらない
もどらない**



落ち着いて避難します

訓練の後、スタッフは避難誘導などの改善点について話し合います。あだち放課後子ども教室は、定期的に避難訓練を実施し、もしものときに備えています。ご家庭でも万が一に備え話し合ってください。